



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			2月9日	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2,7710	2,8320	2,8680	2,8240	2,8350	+0,0110
	BRL/JPY	Spot	42,69	42,17	41,94	42,09	41,92	-0,1700
	EUR/USD	Spot	1,1334	1,1315	1,1298	1,1416	1,1389	-0,0027
	USD/JPY	Spot	118,39	119,45	120,27	118,85	118,78	-0,0700
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12,74	12,83	12,95	12,95	12,51	-0,4444
	Future	1Year(p.a.)	12,90	13,04	13,24	13,22	12,81	-0,4081
	On-shore	6MTH(p.a.)	1,760	1,788	1,920	1,797	1,780	-0,017
	USD	1Year(p.a.)	2,318	2,395	2,525	2,440	2,446	+0,006
株式	Bovespa指数		49.382,58	48.510,28	48.239,67	49.532,72	50.635,92	+1.103,20
CDS	CDS Brazil 5y		232,50	243,00	252,12	244,40	238,23	-6,17
商品	CRB指数		227,906	223,655	221,993	226,097	229,190	+3,093

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は2.7820で寄り付いた。
- 今週は週間エコノミストサーベイの内容やペトロプラスに対する懸念が再燃したことが嫌気され、レアルは寄り付き後から売りが優勢となった。しかし下落していたペトロプラス株が反発したことを受けてか、レアルも反発、週間高値となる2.7750を付けた。
- 翌10日にはブラジル国内の経済指標やインフレ指数の発表を要因にレアルは再び売りが優勢となったほか、ペトロプラスやヴァーレの株を中心にボベスパ指数も大きく下落したことを材料にレアル安は終日続いた。
- 週末にかけては伯小売売上高が予想を大きく下回ったことが嫌気され、レアルは一気に2.87台まで急反落した後、ブラジル経済に対する懸念は引き続き強くレアル週間安値となる2.8810を付けた。
- しかし翌12日には首脳会議でウクライナ停戦が本日の今朝に決定されたことを受け、リスク資産の買いが見られたほか、米小売売上高が予想を下回ったことが嫌気され、米利上げ観測が弱まった。ドルは対主要通貨で大きく売られる展開となり、レアルは2.8180まで急反発した。
- 週末にかけてはPTAX決定に向けてドル買いが見られたが午後には小緩み、レアルは結局2.8350でクローズした。

3. 今週のチャート&ハイライト

ドル/レアルチャート(2000年～)



レアル安値は再び更新

先週のレヴィ財務相の為替介入に関するコメントをきっかけにレアル安トレンドに拍車がかかった。今週はブラジルの主要経済指標の発表がネガティブサプライズとなり、今後ブラジルレアルを支える要因は見つからず、レアルは2.80台を下抜け下落、2004年9月以来の安値まで売られたが、少しは回復をしている。しかし2.80台を下抜けたことで2.9000を試すレアル売りの動きが見られる可能性が高い。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

予想ドル・レアル相場レンジ：2.75－2.90

今週のレアル相場は国内要因を中心に嫌気が指し、レアルは2004年以来の下値を達した。レヴィ伯財務相は財政立て直しに対する姿勢は前向きで市場では好感されているが、今すぐ効果が見られることもないため直近のレアル安に歯止めをかけるには弱い。レアルのボラティリティーは高くなっており、来週はカーニバルのため特段材料に乏しく、流動性の低下も予想される。16日から18日の午前まで休場となる中、休場中の海外要因による影響が18日の午後一気に訂正が入ることもあり、カーニバル明けからレアル相場は荒い値動きとなる可能性がある。その中で海外では米ニューヨーク連銀製造業景況指数、PPI、鋳工業生産等が注目される。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフル率IGP-10(前月比)	0.43%	0.43%	0.42%
米	輸入物価指数(前月比)	-3.2%	-2.8%	-1.9%
米	U. of Mich. Sentiment	98.1	93.6	98.1
EC	GDP(季調済/前期比)	0.2%	0.3%	0.2%
EC	GDP(季調済/前年比)	0.8%	0.9%	0.8%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	2/18	貿易収支(週次)	Feb 15	--	-\$25M
ブラジル	2/18	登録雇用創出合計	Jan	-16.756	-555.508
ブラジル	2/18	税收	Jan	--	114748M
ブラジル	2/19	FIPE CPI-週次	Feb 14	1.65%	1.78%
ブラジル	2/19	IGP-M Inflation 2nd Previc	Feb	0.31%	0.55%
ブラジル	2/19	FGV CPI IPC-S	Feb 18	1.42%	1.63%
米	2/17	ニューヨーク連銀製造業景況指数	Feb	8.50	9.95
米	2/18	MBA住宅ローン申請指数	Feb 13	--	-9.0%
米	2/18	住宅着工件数	Jan	1070K	1089K
米	2/18	PPI 最終需要(前月比)	Jan	-0.4%	-0.2%
米	2/18	鋳工業生産(前月比)	Jan	0.3%	-0.1%
米	2/19	新規失業保険申請件数	Feb 14	290K	304K
米	2/19	失業保険継続受給者数	Feb 7	2330K	2354K
米	2/20	マーケット米国製造業PMI	Feb	53.6	53.9

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。